

美馬市

まほろば十色

緑深い山々の連なりと
天の光を受けてきらめく清流
香り高い文化とともにある
和みとやすらぎの地
四国のまほろばがここにある

徳島県 美馬市
合併10周年記念誌

まほろば

美しい人が住むところに、
美しいまちがあります。

住む人にあたたかく、訪れる人にやさしく、
心なつかしい風景とともにある「すばらしいところ」。
いにしえから続く「まほろば」のまぢよ、
とこしえに。



「四国のまほろば 美馬市」をめざして

平成17年3月1日に脇町、美馬町、穴吹町、木屋平村の3町1村が合併して「美馬市」が誕生し、早や10年が経ちました。この節目を市民の皆様とともにお祝いでさること心からうれしく思います。

さて、人口減少という地方にとって極めて厳しい課題に直面するなか、本市は、「子ども」・「高齢者」・「地域活力」の3つを重点施策と位置付け、これらを着実に進めることにより、将来にわたり持続可能な地域社会を形成してまいります。また、第2次総合計画の初年度に当たるこの記念すべき年を契機として、「共創 協働」の基本理念のもと、本市の将来像である「四国のまほろば 美馬市」の実現に向け、だれもが住みたくなくなるようなまちづくりをめざしてまいりますので、市民の皆様には、さらなるご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

美馬市長 牧田 久



もくじ

彩りゆたか

潤いと恵みの風景 — 2

潤い — 4

恵み — 6

風情豊かな「うたつの町」 — 8

古の文化を伝える寺町 — 10

とつとつおきの美馬体験 — 12

みまじまん

まほろばの宝 — 14

美馬市祭時記 — 16



彩りあざやか

住みやすさをひもとく
一人ひとりが
大切にされるまち — 20

生きる力を育むまち — 22

活力がみなぎるまち — 24

協働により
進化するまち — 26

市議会 — 28

美馬市 City Guide — 30

美馬市 Information — 32



穴吹川の潜水橋

増水時、橋が水面下に沈む潜水橋。民家と段々畑を対岸に控え、集落の暮らしをつなぐ風景は四国ならではの情緒で、いつ訪れても心が癒やされます。



潤いと 恵みの風景

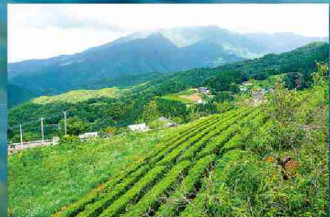
彩りゆたか

なつかしさの中に抱かれた

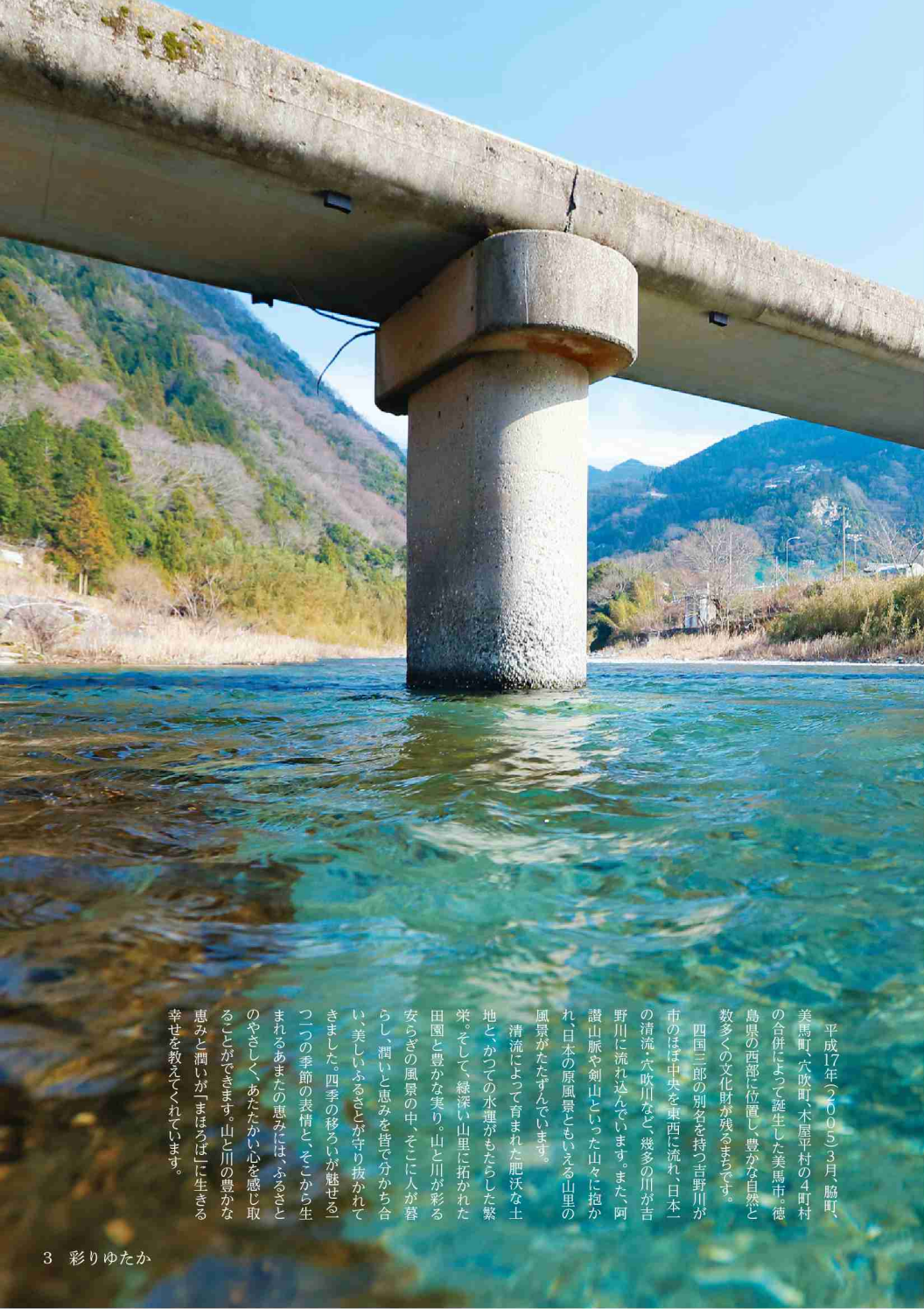
自然の恵みが豊かにあふれる郷土・美馬市。



日常の糧を与え続ける畑田の裏り



素朴な風情が今も残る山里

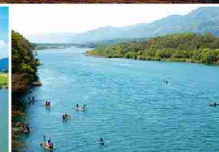
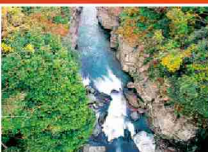
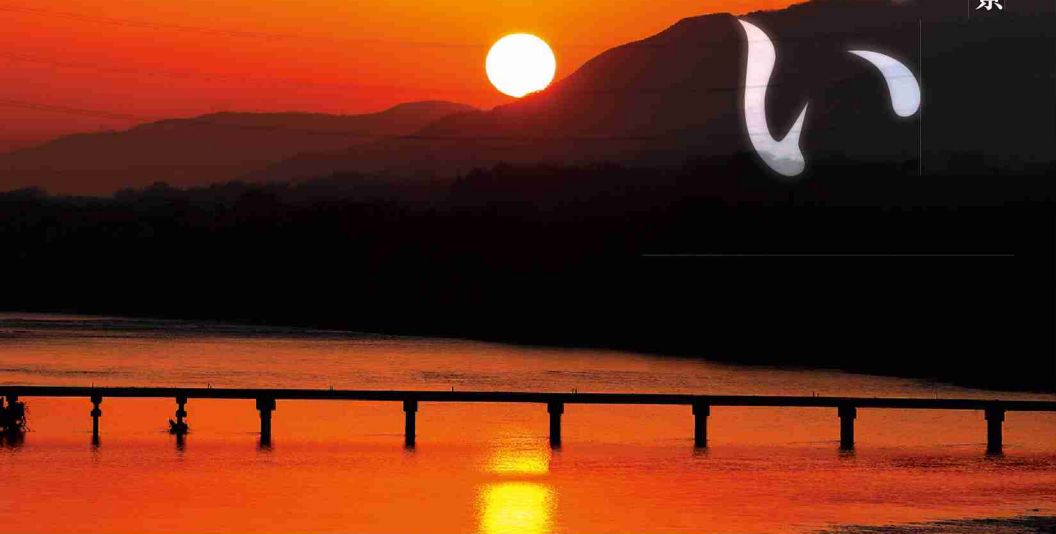


平成17年(2005)3月、脇町、美馬町、穴吹町、木屋平村の4町村の合併によって誕生した美馬市。徳島県の西部に位置し、豊かな自然と数多くの文化財が残るまちです。

四国三郎の別名を持つ吉野川が市のほぼ中央を東西に流れ、日本一の清流・穴吹川など、幾多の川が吉野川に流れ込んでいます。また、阿讃山脈や剣山といった山々に抱かれ、日本の原風景ともいえる山里の風景がたまたま残っています。

清流によって育まれた肥沃な土地と、かつての水運がもたらした繁栄。そして、緑深い山里に拓かれた田園と豊かな実り。山と川が彩る安らぎの風景の中、そこに人が暮らし、潤いと恵みを皆で分かち合い、美しいふるさとが守り抜かれてきました。四季の移ろいが魅せる。一つの季節の表情と、そこから生まれるあまたの恵みには、ふるさとのやさしく、あたたかい心を感じ取ることができます。山と川の豊かな恵みと潤いが「まはろば」に生きる幸せを教えてくれています。

潤



恋人峠から見た渓谷

穴吹川と吉野川の合流地点

ラッキー橋から見た穴吹川

青石橋から見た吉野川

美馬橋から見た吉野川

心に染み渡る清流の彩り

美馬市内には、四国一の大河・吉野川が東西に、清流・穴吹川が南北に流れ、豊かな水に恵まれています。吉野川は、延長194km、流域面積3750km²。日本三大暴れ川の一つで、坂東太郎(利根川)、筑後次郎(筑後川)と並び、四国三郎の別名を持っています。護岸整備が施されなかった時代には幾度も氾濫を繰り返し、人々を悩ませてもきましたが、治水事業や新田開発によって肥沃な大地を形成。今日の恵みの宝庫へと実を結びました。

剣山に源を発し、吉野川へと流れる穴吹川は、日本一の水質を誇る一級河川で、大小様々な河川敷と澄みきった水が美しく、流域の豊かな自然が堪能できます。鮎やあめこ(あまこ)の川釣りをはじめ、川遊びのメッカでもあるほか、下流域には小さな子どもが楽しめるスポットが随所にあり、夏にはたくさん家族連れでにぎわいます。

悠々とした大河、暮らしたくなる清流、情緒ある潜水橋など、水辺の景観がまちと人を潤しています。



脳町の大谷川堰堤(デ・レイケの堰堤)

オランダ人技術者ヨハネス・デ・レイケゆかりの砂防ダム。確かな技術が治水に大きく寄与し、国の登録有形文化財に登録されています。



舞中島高石垣(吉野川)

川の中島にあり、住居の基礎である石垣を高く築き、洪水に備えたもの。



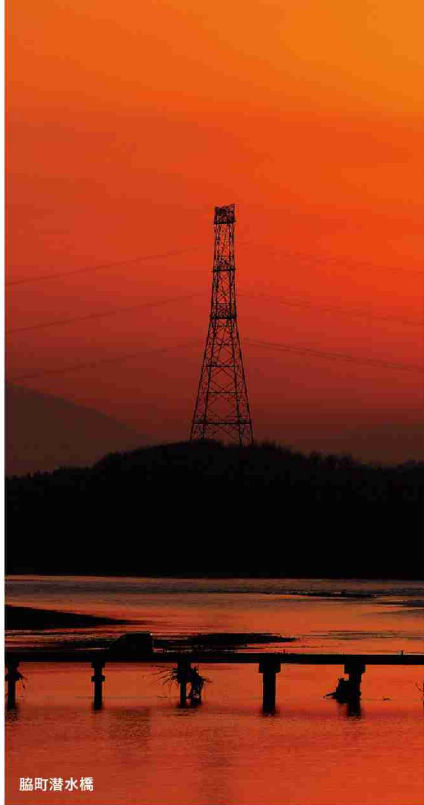
美しい渓谷での鮎釣り

解禁日を迎えると、穴吹川や吉野川流域のポイントで、自然美を堪能しながら楽しめます。

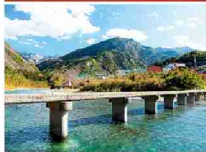


閑定(かんじょう)の滝

穴吹川の支流、閑定谷川にある落差33mの滝。糸を引く様に水が流れ落ち、涼しげな水音を響かせています。



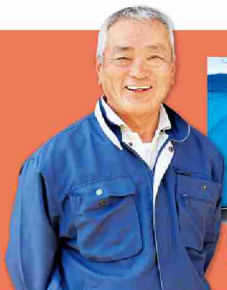
脳町潜水橋



穴吹川潜水橋



刺峡(穴吹川中流域)



NPO法人美馬体験交流の会 理事長
北岡武義さん

吉野川、河川敷にあり、子どもたちの身近な体験の場となっている「水辺の楽校」を中心に活動しています。特に清掃活動に力を入れていますが、近年ごみのポイ捨て、犬の糞などがなくなり、毎日散歩する人が増えてきました。公園内の植樹など、多くの人が集い、自然に親しめる公園づくりを通して、地域貢献できる団体をめざしています。第1回となる春祭りでは、炊き出し体験や防災訓練の実施など、防災の分野にも視野を広げています。

私のまほろば
住人十色

恵 み

美しい故郷に生きる喜び

日本百名山の一つに数えられる剣山は、西日本第二の高峰（標高1955m）で、山岳信仰の拠点として栄えた霊峰でもあります。昭和39年（1964）に国定公園に指定され、その神秘的な頂から眺められる絶景や、山裾に広がる大自然は、多くの登山家から愛されています。また、登山口の一つである見の越から登山道の中間付近にある西島駅まではリフトが設置されており、子どもから高齢者まで登ることのできる身近な山としても定評があります。

剣山山頂の東には、すばらしい雲海の見える峰（標高1879m）として知られる一の森があります。山頂には西日本で最も古い歴史のある「森ヒュッテ」があり、美しい景観を求めて訪れる人が後を絶ちません。春のシヤクナゲ、夏のキレンゲシヨウマなど、可憐な高山植物の花々のほか、四国とも言われる見事な紅葉などが人々を魅了しています。

美馬市の自然の豊かさを象徴する山々の魅力。それらは感動や安らぎを与え、美しい故郷の魅力を二層引き立たせています。



一の森ヒュッテ
管理人
しげみ
平野重美さん

住人十色

一の森ヒュッテは剣山の東側、標高1879mにあり、西日本で最も古いヒュッテです。四季折々の草花や雲海などに加え、夜景や満天の星空、剣山に沈む夕陽や一の森から眺める柔光などのすばらしい景色は、宿泊でしか体験できないヒュッテの魅力です。の森には季節ごとに楽しめる自然があり、それぞれがリピーターにつながる要素。花々の見頃をお伝えするなど、季節を変えて訪れていただけるよう、きめ細かな情報提供でリピーターを増やしていきたいですね。

日本百名山 剣山

昭和39年に国定公園に指定。晴れた日には、山頂から瀬戸内海や大山(鳥取県)まで望めます。白樺のような白い木肌の白曽樹は剣山を代表する景色です。



木屋平のしだれ桜

平坦部での花見が終わる頃、やわらかなうすいピンク色の花が咲きます。



キレンゲショウマ

深い山で稀に生える多年草。宮尾登美子氏の小説『天蓮の花』で紹介されました。



剣山の雲海

その幻想的な美しさに、自然界への敬意も感じさせます。



7 彩りゆたか



シャクナゲ

剣山系の山々は、春のシャクナゲをはじめ、高山植物の宝庫です。

美村が丘からの眺め

標高約500m、眼下には美しく蛇行する吉野川と美馬市の町並みが望めます。

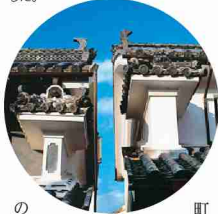
夜のうだつの町並み

あんどん風の街灯が町並みを悠然と照らします。ほのかな明かりは、より一層なつかしさを醸し出します。



うだつ

防火の役目を持つ建物の両側に張り出した小屋根付きの袖壁。財力の証・象徴として、装飾性を帯びて発達しました。



蜂須賀氏が藩主となって以来、徳島藩では藍づくりを奨励。藍は、江戸時代から明治にかけて、阿波の代表的な産業として広が

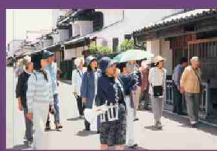
り、交通の要衝として吉野川の水運に恵まれた脇町は藍の集散地として栄えました。街道沿いには藍を扱う商家や呉服の商家が建ち並び、栄華を極めました。本瓦葺きの大屋根根に、壁は厚い塗籠めで漆喰仕上げの重厚な造り――南町には商家の富や成功を物語る「うだつ」や虫籠窓などを備えた建物が今も残されています。昭和63年(1988)には国の重要伝統的建造物群保存地区に、平成19年(2007)には「美しい日本の歴史風土100選」に選定されました。

風情豊かな 「うだつの町」

かつて藍で栄えた美馬市・脇町。商家が軒を連ねる静かなたすまいには、昔ながらの暮らしが息づいています。

私のまほろば 住人十色

先人が残してくれた文化遺産と、そこにある先人の思いを観光に求められた方々と共有し、後世に語り継ぐことが大切だと思います。お客様に「うだつの町並み」に来てよかったですと思ってもらえよう、ボランティアガイドが団結し、おもてなししています。うだつの町に残された先人の知恵を掘り起こし、その魅力をお客様にも共感してもらうことを願って、日々勉強しています。



脇町うだつの町並みボランティアガイド連絡会 会長 正木文子さん





うだつの町並み

先人の知恵が息づく文化遺産の町並み。建造物の部位一つ一つに役割があり、ボランティアガイドを中心に語り継がれています。

静寂に包まれた寺町の風景には、
安安全で平穏な暮らしを神仏に祈る人々の
深い心が見え隠れしています。

いにしえ 古の文化を 伝える 寺町



林照寺

室町時代末期創建、浄土真宗の寺。桃山様式の唐門が人の往来を見守っています。



西教寺

藩政時代には安楽寺と同等の格式を持っていた浄土真宗の大寺。親鸞上人の像が寺宝となっています。



願勝寺の枯山水

南北朝時代の築造と推定される、四国最古級の池泉式枯山水の庭園。

常念寺

浄土真宗の寺。「愚の苑」と呼ばれる庭園が山門前にあります。

安楽寺重層門

朱塗りの重層門は「赤門」と呼ばれ、県下五大門の一つ。古くから阿波・讃岐などの各地に寺院を創立し、栄えてきました。





国指定史跡 段の塚穴

古墳時代後期築造。四間で最大級の横穴式石室を持つ古墳です。

安楽寺能舞台

寺院は仏の教えを伝えること以外に、伝統の継承も大切であるという考えから、平成8年に誕生。伝統芸能や講演などに使われています。

まるで都と思えるほどの山門がそびえ、堂々たる伽藍が建ち並ぶ寺町。山里の穏やかな風情の中、壮大な伽藍や往時を徳ふ石灯籠、覆い尽くすかのように迫る山門の姿は、文化の豊かさを物語っており、街道を歩く旅人は感嘆せずにはいられません。

寺町には、由緒ある古刹が多く残っています。赤門で有名な安楽寺は、四国最古級にして最有力の浄土真宗寺院であり、徳島県下で唯一能舞台を備えた寺としても知られています。また、奈良時代に創建された名刹・願勝寺には、四国最古級の枯山水の庭園があります。

深い歴史が宿る寺院の聲が、緑の山を背に波打つ寺町の風情その荘厳さとはうらはらに、しっとりとした古都の趣が漂い、古代からの文化の先進地であったことを物語っています。太古の時代から、人々が住まう地に祈りがあり、祈りがあるところ、平穏な時間が流れる——。私たちの祖先がよりどころとしてきたもの。それは時を紡ぐ中で宝となり、今も美馬の地に安楽をもたらしています。



青木家住宅

故・青木伊三郎氏が大正4年に建築した豪邸。各種イベント、研修などの会場にも利用されています。

国指定史跡 郡里廃寺跡

白鳳時代に創建された県内最古級の寺院跡。法起寺式伽藍配置であることが明らかとなっています。



郡里廃寺跡出土鑑瓦

瓦、土器などが発掘されており、瓦は市内の坊僧窯跡群で焼かれたものと考えられています。



NPO法人郡里交流会 寺町案内人 井村扶さん

段の塚穴のような古墳時代から続く史実・願勝寺や安楽寺のような寺町の史跡などは、市にとって自慢できるものだと思います。また、寺町の地域は、昭和30年頃まで和傘の生産地であったことから、近年では、訪れた方々の記念撮影で和傘を利用するなどで、伝統文化のPRに取り組んでいます。さらに防災交流センターを活用し、書や写真展、パッチワーク展などの地域の活動にも力を入れていきます。

私のまほろば
住人十色

とっておきの

パラグライダー

美馬市はパラグライダーのメッカ。穴吹川や吉野川を眼下にしながら、快晴の空をゆったりと。



中尾山高原 グラススキー

緑のゲレンデで、風を切ってすべる爽快感が魅力のグラススキー。



収穫体験

陽の光をたっぷり吸収した甘いりんごなど、たわわに実った旬の果物を観光農園で。



清流の郷 ブルーヴィラあなぶき

穴吹川河畔にあり、入浴施設をはじめ、レストランやバーベキューハウスが人気。



美村が丘

そば打ち体験

パノラマの絶景が見渡せる美村が丘。地元の方の指導によるそば打ち体験ができます。



吉野川カヌー体験

カヌー体験教室を開催しているので、子どもからおとなまで安心して楽しめます。

リバーサイドしての家

住民が運営する観光・物産販売施設。地元のあたたかさに触れられる交流スポットです。

山人(やまんど)の里

廃校となった小学校の校舎を利用した施設で、石窯ピザ焼きや農業体験などのプログラムが充実。



美馬市地域おこし協力隊 繁田直紀さん

私のまほろば 住人十色

私は、清流・穴吹川の親水PRの活動を主としており、市民の方に川を身近に感じてもらえるようなイベントや、生物観察教室の開催などを行っています。穴吹川に生息する動植物は珍しいものばかりで、中には絶滅危惧種に属するものも。探索する度に新しい発見があります。今は、水中カメラを使ったPRにも挑戦しています。美馬市の魅力を紹介し、皆さんにもっと美馬市を好きになってもらいたいですね。

美馬体験

水と緑いっぱい自然や、

古い時代よさを感ぜさせてくれる町並み…。

驚きや感動、心と時間があふれています。

すがすがしい山の緑と澄み渡る青い空に抱かれながら、時には大自然に、時には歴史情緒に触れたり、美馬市ならではの楽しみ方があります。

清流穴吹川と大河吉野川では、キャンプやカヌー、鮎釣りが堪能できるほか、阿讃山脈や剣山を背景に空を舞うパラグライダー、そして登山やグラススキーなどが楽しめます。また、商家がたたずむうだつの町並みや、古都の風情が漂う寺町では、往時の繁栄と先人の暮らしぶりに触れます。山あいや川岸に、もちろんに、自分だけの「まはろば」を見つけることができます。



旧長岡家住宅

江戸時代中期の農家の代表的建築と言われ、国の重要文化財に指定されています。



吉田家住宅

寛政4年創業の豪商・吉田直兵衛の家。建築様式のすばらしさから往時の暮らしぶりが伺えます。



歴史情緒
編

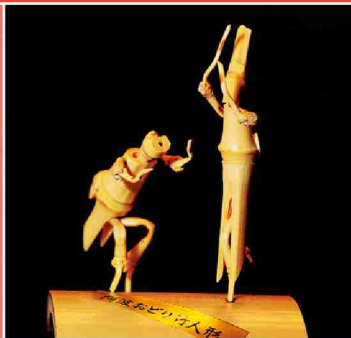


脇町劇場(オデオン座)

昭和9年に建てられたモダンな大衆劇場。映画の舞台にもなり、古きよき芸能文化を今に伝えています。

太陽と土、水の恵みを
ふんだんに受けた美馬市の逸品。
農産物から工芸、
地元の味に至るまで、
名物自慢の「ほんまもん」が
勢ぞろいです。

みまじまん まほろばの



ゆず

旬の味が楽しめる
果物類
清らかな自然環境で
育った果物。産直市など
で新鮮なまま販売され
ています。

竹人形
繊細かつ大胆な阿波踊
りの竹人形は、一つ一
つが見事な手作り。作り
手の技が輝いています。

宝



ブルーベリー

シンビジウム
世界中で栽培されているシ
ンビジウムは美馬市生まれ
の品種が最も多いと言われ
ています。





八朔



ぶどう

和傘

繊細で美しい竹の骨組みと、風情ある和紙の張り合わせ。伝統工芸の見事な品を手にできます。

地酒

古くから地元の酒造会社が独自の銘柄を製造・販売。まろやかなコクと芳香が好評です。



道の駅藍ランドうだつ「藍蔵」
ふるさとわかまち株式会社
代表取締役社長
篠原秀輔さん

住人十色

私のまほろば

うだつの玄関口にある「藍蔵」は、単なる土産物販売の道の駅施設とは異なり、古い建物を活用した落ち着いたお店です。売店では、美馬市の特産品である「みまから」をはじめ、ブルーベリー、焼き肉のたれなどを販売しているほか、レストランでは、徳島名産の阿波尾鶏を使つた「せいり蒸しセット」が楽しめます。今後も地産の特産品を使用した商品開発、販売企画、販路の開拓を推し進め、より一層の事業展開を図ってまいります。

美馬市

祭時記

花の里 芝桜祭り

4月

藤町広棚地区で開催。住民によって植えられた赤や白、ピンクの芝桜がまるでじゅうたんを敷いたかのように山間の風景を染め上げます。

昔ながらの伝統行事や、感動と興奮が絶えないイベントなど、四季折々、美馬市の晴れ舞台。

デ・レイケ公園 チューリップ祭り

4月

大谷川沿いにあるデ・レイケ公園で開催され、色とりどり約15,000本のチューリップが咲き誇り、バラソルショップなども行われます。



6月

花しょうぶまつり

寺町公園とその周辺で行われ、約3,000本の花しょうぶがひしめき合います。三味線餅つきや寺町ウォーキングも開催されます。

美馬市花火大会

8月

吉野川河川敷で行われ、打上数は約1,000発。阿波踊り大会も同時開催され、美馬市の夏の夜に感動を呼ぶイベントです。





10月

うだつまつり

うだつの町並みイベントで、パフォーマンスやお練り、秋の阿波踊り、特産品PR、オデオン座での公演など多種多様に開催します。



11月

美馬市文化祭

市民が取り組んでいる芸能発表会や各種芸術作品の展示、映画鑑賞、健康・歴史ウォーキングなど、秋の楽しみが満載の行事です。



8月

うだつのまちの阿波踊り大会

徳島の夏といえば阿波踊り。情緒あるうだつの町並みが一層華やかに染まり、阿波の心意気が見る人、踊る人をつなじます。



8月

穴吹川筏下り大会

タイムを競ったり、清流を楽しく下ったりするなど、県内外から多くのグループが手作りの筏で参加。清流を舞台にした真夏の恒例行事です。

市制10年のあゆみ

平成27年（2015）3月、
市制施行10周年を迎えた美馬市。
一つになったまちの軌跡を振り返ります。



平成20年
2008
10月

アインシュタインLOVE in 美馬市を開催



平成19年
2007
10月

第22回国民文化祭とくしま2007の開催
【美馬市では「能楽の祭典」、「映像フェスティバル」を実施】

平成21年	平成20年	平成19年	平成18年	平成17年
2009	2008	2007	2006	2005
<p>4月.....</p> <ul style="list-style-type: none"> ●デ・レイク公園完成記念事業を実施 ●喜來地区農業集落排水処理施設が完成 ●ICT基盤を活用した見守り(安否確認)サービスを開始 <p>5月.....</p> <ul style="list-style-type: none"> ●水辺の楽校中島川公園が開校 <p>6月.....</p> <ul style="list-style-type: none"> ●地域情報化基盤整備が完了 <p>9月.....</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「もっとみんなでクラシック in 美馬市(東京交響楽団コンサート)」の開催 	<p>2月.....</p> <ul style="list-style-type: none"> ●美馬市自主防災組織連絡協議会が発足 <p>4月.....</p> <ul style="list-style-type: none"> ●美馬市商工会が発足 <p>10月.....</p> <ul style="list-style-type: none"> ●アインシュタインLOVE in 美馬市を開催 ●第15回高円宮杯グラススキージャパンオープン・第24回全日本グラススキー選手権の開催 	<p>3月.....</p> <ul style="list-style-type: none"> ●市の花木鳥を制定 ●美馬市総合計画を策定 <p>4月.....</p> <ul style="list-style-type: none"> ●美馬森林組合が発足 <p>10月.....</p> <ul style="list-style-type: none"> ●第22回国民文化祭とくしま2007の開催。美馬市では「能楽の祭典」、「映像フェスティバル」を実施 <p>11月.....</p> <ul style="list-style-type: none"> ●車道展「うだつをいける」を初開催 <p>12月.....</p> <ul style="list-style-type: none"> ●森選・谷口バイパスと穴吹バイパスが開通 	<p>3月.....</p> <ul style="list-style-type: none"> ●美馬市危機管理指針を策定 ●行財政システム改革基本方針を策定 <p>7月.....</p> <ul style="list-style-type: none"> ●美馬市観光協会を設立 <p>10月.....</p> <ul style="list-style-type: none"> ●美馬市ファミリーサポート・センターが運営開始 	<p>3月.....</p> <ul style="list-style-type: none"> ●脇町、美馬町、穴吹町、木屋平村の合併により美馬市が誕生 ●水道庁舎が完成 <p>4月.....</p> <ul style="list-style-type: none"> ●初代美馬市長に牧田久氏が就任 <p>5月.....</p> <ul style="list-style-type: none"> ●うだつの町並みで「水戸黄門」ロケ <p>6月.....</p> <ul style="list-style-type: none"> ●美馬市自治会連絡協議会を設立 <p>8月.....</p> <ul style="list-style-type: none"> ●美馬市合併記念花火大会を実施 <p>10月.....</p> <ul style="list-style-type: none"> ●美馬市文化協会が発足 <p>11月.....</p> <ul style="list-style-type: none"> ●第1回美馬市文化祭を開催



平成22年
2010
8月

中国・大理市と友好都市提携を締結



平成17年
2005
3月

脇町、美馬町、穴吹町、木屋平村の合併により美馬市が誕生



平成26年
2014
10月

美馬地区消防指令センターが運用を開始



美馬市工場用地造成工事起工式を実施
【大塚製薬(株)新工場】

平成26年
2014
8月



江原認定こども園が開園

平成24年
2012
4月

平成27年

2015

- 3月.....
●第2次美馬市総合計画を策定
- 4月.....
●美馬市無料職業紹介所を開設

平成26年

2014

- 3月.....
●美馬市庁舎の増築工事が竣工
- 剣山国定公園が指定50周年を迎える
- 5月.....
●美馬市民グラウンドをリニューアル
- 7月.....
●既存庁舎改修工事が竣工
- 8月.....
●美馬市工場用地造成工事起工式を実施【大塚製薬(株)新工場】
- 10月.....
●美馬地区消防指令センターが運用を開始
- 脳中央地区営農飲雑用水施設完成
- 11月.....
●四国大学西部地区スーパーステライトオフィスが旧脇町庁舎に開設

平成25年

2013

- 4月.....
●みまっこ医療費助成制度を中学校修了まで拡大
- にし阿波～剣山・吉野川観光圏が観光庁から認定
- 10月.....
●観光交流センター連携協定を調印

平成24年

2012

- 4月.....
●江原認定こども園が開園
- 小中学校の耐震化完了
- 5月.....
●“まほろば”のまちづくり推進プログラム事業の募集開始
- 9月.....
●第27回国民文化祭とくしま2012の開催。美馬市では「ふるさと絵画展」、「能楽の祭典」などを実施
- 10月.....
●皇太子さま美馬市に行啓
- 川上地区の穴吹川河川敷にヘリポートが完成
- 12月.....
●大塚製薬(株)の工場立地にかかる覚書の調印

平成23年

2011

- 3月.....
●東日本大震災による支援活動を実施
- 美馬市多世代交流センター第1号の「西測ふれあいの里」完成
- 6月.....
●切久保地区営農飲雑用水施設完成
- 美馬市デマンドバス「まほろば応援隊」の運行を開始
- 7月.....
●美馬市災害ボランティア「まほろば応援隊」が宮城県石巻市へ出発
- 長野県高森町と「災害時の相互応援協定書」を締結

平成22年

2010

- 4月.....
●美馬市消費生活センターを開設
- 5月.....
●美馬市日本中国友好協会を設立
- 8月.....
●中国・大理市と友好都市提携を締結
- 10月.....
●美馬市制50周年記念式典を開催
- 美馬市民憲章を制定



庁舎機能を二元化 生まれ変わった 六吹庁舎

庁舎機能二元化に伴う、穴吹庁舎増改築事業が行われ、平成26年(2014)8月に業務を開始しました。市保健センターや農村環境改善センターが隣接する庁舎の増築により、ワンストップ型の市民サービスが提供できるよう進められた事業です。

増改築によって脇町庁舎から保険福祉部が、美馬庁舎から教育委員会が移転し、穴吹庁舎に機能が集約されました。

彩りあざやか

一人ひとりが 大切にされる まち

市民一人ひとりが健康で
いきいきと暮らせるまちづくりを
進めています。



住みやすさを
ひもとく
×
子育て・福祉

美馬ふれあいバス(デマンドバス)

乗合式のジャンボタクシーで、電話一本で自宅から病院、公共施設、駅などへ、乗り換えせずに行くことができる便利なバスを運行。



市民が健康で生きがいを感じ、安心して子どもを産み育てることができるよう、保健・医療・福祉が一体となった施策を展開しています。子育ての分野では、地域、行政、企業などの社会全体による子育て家庭への支援を図っています。特に地域子育て支援センターでは、児童福祉を専門とする主任児童委員がボランティアで参加し、育児の相談・

指導に携わっています。健康づくりの推進については、生活習慣病予防の徹底を図り、保健指導や各種がん検診の啓発・受診推奨に努めており、特定健診受診率は県内でも高い伸び率となっています。高齢者福祉の充実については、近隣や地域における見守り体制の強化に努め、地域密着型サービスの充実を図っています。



「みまこ医療費助成」による安心の子育て
 子育て支援策の一環として、助成対象年齢を中学校修了までに拡大して実施。子どもを安心して産み育てることのできる環境づくりを図っています。



高齢者への見守り支援
 情報通信ネットワークにより、ひとり暮らし高齢者の見守りを強化しています。



教育施設の耐震化

全ての小中学校の耐震化を実施し、安全で快適な校内環境を整備しています。



古澤英代さん

私のまほろば
住人十色

地域子育て支援センターの「びよこルーム」を利用しています。アットホームであたたかい雰囲気の中、お母さんたちの情報交換の場になっています。様々なイベントがあるので、子どもたちも楽しそうなんです。施設の先生からも気軽に声をかけて、いただいて、子育ての不安なども相談できます。親同士のつながりがあったり、地域では周囲の方が子どもを見てくださったり……。そんな環境が安心ですね。



デジタル機器を使った授業
(教育環境のICT化)

コミュニケーション能力の向上をねらいとし、タブレットや大型ディスプレイなどを取り入れた交流授業を展開。熱心に取り組まされることにもつながっています。

住みやすさを
ひととく
×
教育

生きる力を 育むまち

自ら課題を見つけ、
自ら学び、自ら考え、行動する。
豊かな人間性を育んでいます。

次代を担う人づくりに重点を置き、持続可能な地域社会の創造や、豊かな心を育むための教育を推進するとともに、安全で快適な教育環境の充実を図っています。特色ある教育の充実では、地域の実態や児童生徒の実情を踏まえ、知・徳・体の調和のとれた子どもたちの育成に努めるとともに、全国屈指のフロードバンド環境のもと、電子黒板やデジタル教科書など、ICTを最大限に活用した質の高い教育活動を実践しています。また、食を大切に

にする教育の推進や学校給食の充実を図っています。さらに、学校を主体とし、創意と工夫により、地域の自然や文化などを生かした特色ある教育活動を推進しています。





国際交流員
Pyke van Zon
(パイク・ヴァン・ゾン)さん



私のまほろば 住人十色

私はオランダのアムステルダム市出身です。着任以来、オランダの歴史や文化、暮らしなどを紹介しながら、市民の方々とふれあい、交流を深めています。今、特に力を入れているのがYouTube。動画を上げて美馬市を世界へ発信すること、ススキ山の景色やふるさとのあたたかさを世界の人々に知ってもらいたいですね。



夏子いなか市で 作物販売をする子ども

夏子ダム休憩所にある直売所で、小学生が学校で育てた美馬太きゅうりや炭の販売体験を行っています。

プラスワンスクール

地域社会との連携によって次代の郷土を担う子どもたちを育成しています。



食育活動

地域の協力を得ながら、児童自ら農作物を育て、収穫し、給食で味わうことにより、「生きる力」を育んでいます。



活力が みなぎる まち

地域の暮らしを支える産業が
いきいきと発展できるまちづくりを
進めています。



住みやすさを
ひもとく
×
農林業・地場産業



人と農地をつなぐ支援

新たな担い手の育成や農業経営者の支援
など、農業生産基盤の整備を進めています。
農業の環境づくりが農産物生産への生きが
いや新たな取り組みを生み出しています。



林業間伐

市域の約8割を占める森林。企業による間伐作業をはじめ、森林資源の有効活用を促進しています。

大塚製薬(株)の進出造成地 (里平野・横尾工場用地造成)

企業の生産拠点となる工場用地を造成。経済の活性化や雇用の促進に期待されています。

市民の暮らしを支える地域産業の活性化や、にぎわいを生み出す観光の振興を図り、地域の活力を高めています。特に、地域の特性を生かした活力ある農林業の育成に努めています。

また、まちづくりと一体となった商工業の振興、中小企業の経営基盤の強化などを図るとともに、企業誘致など魅力ある雇用の場の創出に努め、地域の暮らしを支える地域産業がいいきと発展するまちづくりを進めています。

さらに、うだつの町並みをはじめ、自然・歴史・スポーツに大別できる市内の観光資源を有効活用するとともに、近隣自治体との連携を図りながら、広域型・滞在型・交流型などの様々な施策展開を図り、観光関連産業の育成を進めています。

地域活性化をめざす 六次産業化

生産・販売システムの確立などを通して、若者の地域での雇用や、起業の促進、新たなビジネスモデルの構築につなげています。



みまから



寄植盆栽

産直市

採れたての野菜や果物などを市内の随所で販売。地産地消、情報発信に取り組んでいます。



私のまほろば 住人十色

産直市連絡会は、市内15の産直市で結成し、新鮮で安心な農産物や加工品を販売する窓口として、農業のイメージアップ、地域の活性化を進めています。近年、販路の拡大として、高松市・大阪市・伊丹市などで物産展を開催し、消費者へのふれあいを深めています。これからも幅広く販売を通して交流を図りながら、美馬市の「旬」をお届けします。

市長
産直市
会長の
美馬
連絡
本部長
池本茂樹さん





支障木の伐採(まほろばの里クリーン作戦)

消防団や自治会の協力のもとで取り組まれ、防災・減災につながっています。



市民と行政による
共創・協働の実現に向けて、
自主自立のまちを築き上げています。

協働により 進化するまち

市では、地域コミュニティ活動の支援として、その基礎である自治会に対し、広報活動や情報提供など、自治会独自の活動について連携を取りながら支援を行っています。これまでも、美馬市自治会連絡協議会を設置し、自治会の問題や課

題について、行政との綿密な連携を図ってきました。市民と行政が情報を共有しながら自分たちのまちのよさを確認し、市民が参加しやすい仕組みづくりと、協働体制を充実させ、市全体の発展と一体感の醸成につなげています。

住みやすさを
ひもどく
×
地域活力



美馬市自治会連絡協議会 会長
佐藤晃一さん

私のまほろば 住人十色

自治会の目的は、地域の住民が協調し、住みよいまちをつくること。そんな自治会の代表をつくる。成される自治会連絡協議会は、行政との連携などを目的に活動しており、市との意見交換を定期的に開催しています。今、力を入れていゝ地区逸品運動は、共創協働を促進させる事業の一つ。地域の特色を生かし、自治会の活性化につなげたいです。



シニアパワー活用プログラム

就労や地域活動に意欲的なおおよね60歳以上の市民を対象に実施。元気な高齢者の「出番」が増えています。

1地区逸品運動

市の補助により、市民自らが考え、実践するまちづくり事業を通して自治会活動を推進しています。(写真は城地区 ひまわり迷路)



六吹川クリーンアップ行動

多くの市民や市民団体の参加のもと、美しい清流が持つ潤いと安らぎの環境を守っています。

自主防災組織の活動

「自分たちのまちは自分たちで守る」という心構えのもと、地域内の安全点検や防災知識の普及・啓発、防災訓練などを実施。90%を超える県内でも高い結成率で、活動も盛んです。



市議会

快適で住みよいまち 美馬市の実現のために

市議会の変遷と役割

平成17年(2005)3月1日の市制施行により、美馬市議会は発足しました。当初は在任特例期間を1年7か月とし、57人の議員が発足しましたが、平成18年(2006)3月定例会で任期を残し、自主解散しました。そして、同年4月23日に合併後初の市議会議員一般選挙(第一選挙区(定数22)が執行され、同年4月16日の告示日に無投票当選が決まった第二選挙区(定数1)と合わせ、新たに23人の市議会議員が誕生しました。その後、平成20年(2008)7月の議員定数等調査検討協議会設立を経て、平成21年(2009)3月定例会において「美馬市議会議員の定数を定める条例」を提出し、可決。平成22年(2010)4月18日と平成26年(2014)4月20日に市議会議員一般選挙(定数20)が執行されました。

市議会では、私たちの美馬市を快適で住みよいまちにしていくた



議長・副議長





総務常任委員会



福祉文教常任委員会



産業常任委員会

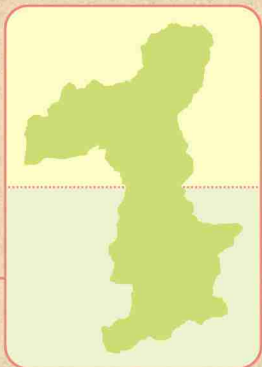


議会運営委員会

議会構成

	総務 常任委員会	福祉文教 常任委員会	産業 常任委員会	議会 運営委員会
委員長	片岡 栄一	郷司千亜紀	田中 義美	武田 喜善
副委員長	藤野 克彦	浪越 憲一	都築 正文	郷司千亜紀
委員	林 茂 武田 喜善 井川 英秋 久保田哲生 前田 良平	藤原 英雄 西村 昌義 原 政義 三宅 共 谷 明美	中川 重文 国見 一 川西 仁 武田 保幸	浪越 憲一 田中 義美 井川 英秋 西村 昌義 久保田哲生 片岡 栄一

美馬市 City Guide





うだつアリーナ



美馬市役所(穴吹庁舎)



三木家住宅



寺町



四国三郎の郷



木屋平 中尾山高原

美馬市 Information

美馬市民憲章

(平成22年10月23日 制定)

わたしたちは ふるさとの豊かな自然と文化を大切に
しだれもが住みたくなるまちをつくるため この憲章を定めます

ともにまもう 絆で結ぶ やさしいまちを
ともにきずこう うだつの上がる 元気なまちを
ともにめぞう 笑顔あふれる 四国のまほろば

市のシンボル



市章
(平成17年3月 制定)



市の花 百日紅
【サルズベリ】
(平成19年3月 制定)



市の木 柳
【シダレヤナギ】
(平成19年3月 制定)



市の鳥 アカゲラ
(平成19年3月 制定)

美馬市観光大使



假屋崎省吾さん
【華道家】



矢田清巳さん
【映画監督】



林家三平さん
【落語家】

姉妹都市・友好都市交流

姉妹都市

旧脇町地域が江戸時代初期の稲田氏ゆかりの地であることから、交流を続けています。



兵庫県洲本市
(平成2年9月9日 締結)



北海道日高郡新ひだか町
(平成2年9月9日 締結)

友好都市

相互訪問による人的交流、教育・文化・経済など、幅広い分野での交流を図っています。



中国雲南省大理市
(平成22年8月24日 締結)

あなたのまほろばは、
見つかりましたか。

文化の香りが高く
周囲を山々で囲まれた、
実り豊かな土地で
美しく住みよいところ。
自然とまちと人が寄り添う、
そんな暮らしをいついつまでも。





美馬市合併10周年記念誌

発行日／平成27年5月

発行／徳島県美馬市

〒777-8577 徳島県美馬市穴吹町穴吹字九反地5

TEL 0883-52-1212(代) FAX 0883-53-9919

HP／<http://www.city.mima.lg.jp/>

E-mail／info@city.mima.lg.jp

編集／美馬市ふるさと振興課

制作／株式会社ジャパンインターナショナル総合研究所